

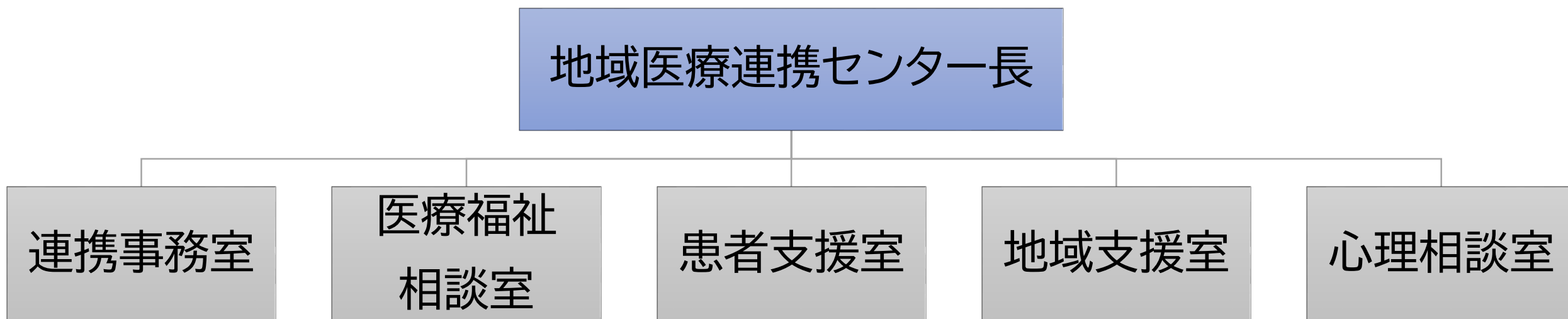
# スムーズに転院 受け入れ隊



2025年度業務改善活動  
地域医療連携センター

©近藤豊美 小野千恵美 上田奈々 里脇由佳 久保みゆき  
長崎優子 斎藤幸代

# 地域医療連携センター



5室がoneチームとなり活動している

# 背景：なぜこのテーマを選んだか



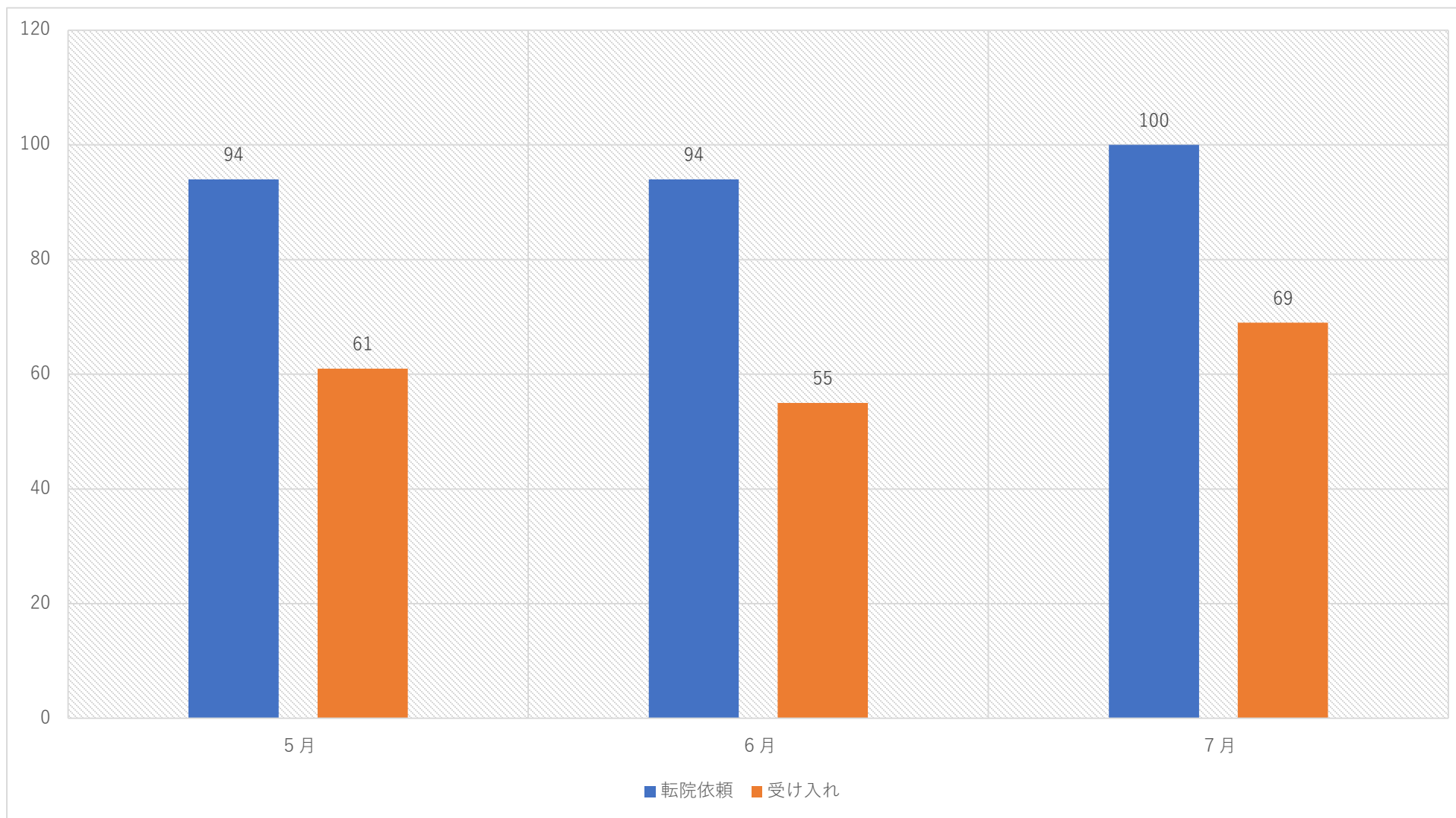
毎月他施設(病院・クリニック・在宅診療所等)からの入院・転院依頼は  
90～100件程度ある  
4・5・6月の転院受け入れ数の平均は60件であった

担当看護師が内容を確認し、医師へ直接受け入れ交渉を行っている  
医師の外来担当や救急担当日などを考慮し依頼を行うため、交渉に苦慮していた  
「どの医師が受け入れ可能なのか」の判断に迷いがあった



目標病床数150床を確保するため、積極的に転院の受け入れを行う必要がある  
シームレスな受け入れ体制を検討し患者数確保につなげる

# 入院・転院依頼と実際の入院件数



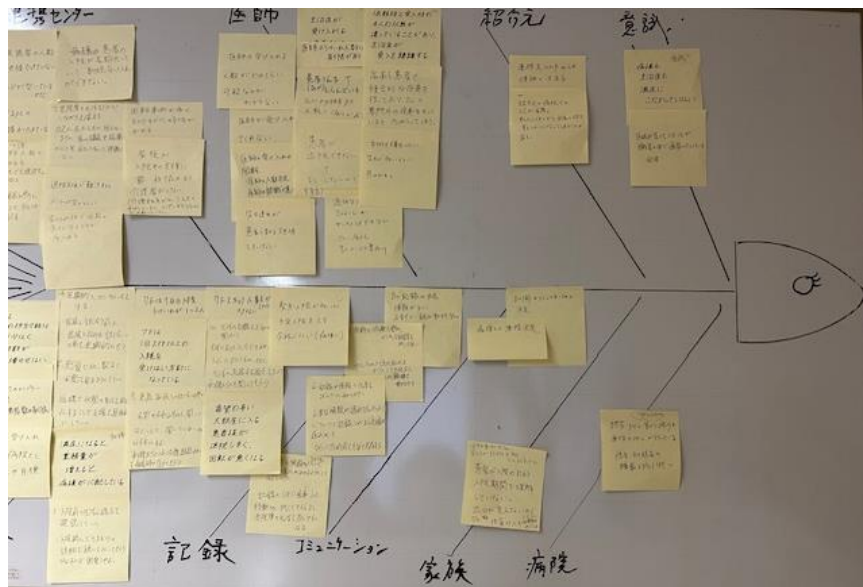
# 目標

1. スムーズ・シームレスな転院受け入れ
2. 目標病床数(150床)の確保

# 対策案検討

①

どこに問題があるのか  
問題抽出技法で検証



作成したフィッシュボーン

②

カテゴリー別に優先順位を決定した

確実性  
大

優先順位1位

確実性  
小

早急に対応

将来リスク大

対策を保持

連携センター

医師の問題

病棟の問題

職員の意識

コミュニケーション不足

病院のシステム

紹介元

家族・患者

対策を保持

将来リスク小

当面保留

# 対策実施

- 医師別に受け持ち患者数を把握する
- 医師の業務状況を確認して依頼を行う
- ホワイトボードで1週間の退院予定を見える化した
- 退院＝新規受け入れ枠が空くタイミングで各医師への転院受け入れを依頼した
- 担当患者が少ない医師に対し、転院患者を受け入れてもらえるよう医局へ働きかけた



# 新たに作成したホワイトボードの運用

	月	火	水	木	金	土	日	実調 退院前カンファレンス	予定入院	備考
日付	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21			
3F										
4F										
5F										
6F										
7F										
8F										

- ・各病棟の1週間分の退院予定患者を記入
- ・「どの医師の患者がいつ退院するか」がひと目で分かる
- ・退院＝新規受け入れの枠が空くタイミングが明確になる
- ・実調・退院前カンファレンスの予定を記入することで加算が確実に取得できているかを確認することができた



# 結果



シームレスな受け入れ体制の標準化や目標病床数の確実な確保には至らなかった

- 救急外来対応時や依頼患者の重症度、各医師個々の理由によって受へ入れに至らないことがあった
- ホホワイトボードはあくまでも退院支援部門担当者の入院や退院患者を把握するためのもので病棟全体の患者は記入されないため全体の把握はできなかった

# 課題



- スムーズな転院受け入れには、病院全体の入院・退院患者の把握・医師の状況判断を行い、受け入れの依頼を行う必要がある
- 目標病床数を確保するには、医師をはじめとしたスタッフ全員が協力して受け入れを行う体制を構築する必要がある

# まとめ

- 転院依頼をスムーズに受け入れることは、**目標病床数を確保することにつながる**
- 病床数を確保するためには、院外の連携とともに、**院内の各医師と各病棟との連携がKeyとなる**
- 副産物として、ホワイトボードを活用することで「入退院支援加算(700点)」「介護連携指導料(400点)」「退院時共同指導料(400点)」が**確実に取得できているかを確認することができたことは経営の貢献に繋がった**

